



年末年始の生活情報

●可燃ごみの収集

対象地域	12月30日(木)	12月31日(金)～令和4年1月3日(月)
須賀川地域	「月・木」の地区	収集あり
	「火・金」の地区	収集なし
長沼地域		収集なし
岩瀬地域	収集あり	

※し尿のくみ取りは12月28日(火)午前11時まで、業者への申し込みは12月17日(金)までです。

●休日夜間急病診療所(市保健センター内) ☎(76)2980(診療時間内)

診療科目 内科・小児科

通常(年末年始を除く)

曜日	受付時間
月～金曜日	午後7時30分～9時15分
土曜日	午後6時30分～8時45分
日曜日、祝日	午前9時～11時30分
	午後2時～4時30分

年末年始(12月31日～令和4年1月3日)

月日	受付時間
12月31日(金)	午前9時～11時30分
令和4年1月1日(土)	午後2時～4時30分
2日(日)	午前9時～11時30分

注意事項

▶熱・せき・下痢などの症状がある人は事前にご連絡ください。

▶インフルエンザ検査、新型コロナウイルス感染症関連の検査は行いません。

▶福島県こども救急電話相談(短縮ダイヤル#8000)もご利用ください。

●主な公共施設の休館日 休館 ※tetteは、tetteホームページをご覧ください。

施設区分	施設名	12月				令和4年1月				
		28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)
温泉・宿泊	市民温泉									
	老人福祉センター									
	いわせ悠久の里									
	いわせ老人福祉センター									
	藤沼湖自然公園コテージ村、三世交流館、藤沼温泉やまゆり荘(31日、2日、3日は午後4時まで)									
教育・文化・体育	ムシテックワールド									
	中央図書館、風流のはじめ館、須賀川特撮アーカイブセンター									
	長沼・岩瀬図書館、博物館									
	体育施設(岩瀬地域を除く)									
	岩瀬地域体育施設									

●表5 貸借対照表※2

資産の部		負債の部	
固定資産	345億1,789万円	固定負債	129億6,236万円
有形固定資産	338億9,525万円	流動負債	14億2,663万円
無形固定資産	6億2,024万円	繰延収益	200億6,934万円
投資その他の資産	240万円		
流動資産	6億9,130万円	負債合計	344億5,833万円
現金預金	3億4,122万円	資本の部	
未収金	3億5,008万円	資本金	3億5,960万円
		剰余金	3億9,126万円
		資本剰余金	1億1,126万円
		利益剰余金	2億8,000万円
		資本合計	7億5,086万円
資産合計	352億 919万円	負債・資本合計	352億 919万円

●表4 損益計算書※1

収益の部		費用の部	
営業収益	8億 181万円	営業費用	18億 415万円
下水道使用料	7億1,462万円	営業外費用	2億4,347万円
他会計負担金	8,684万円	特別損失	4,745万円
その他営業収益	35万円		
営業外収益	15億4,812万円	費用合計	20億9,507万円
特別収益	2,514万円	純利益	2億8,000万円
合計	23億7,507万円	合計	23億7,507万円

●表6 企業債※3残高

年度	金額
令和2年度	140億2,211万円

●表2 貸借対照表※2

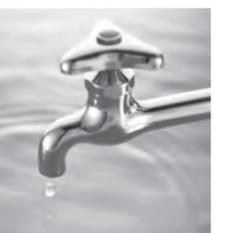
資産の部		負債の部	
固定資産	192億5,973万円	固定負債	72億5,365万円
有形固定資産	192億4,691万円	流動負債	5億5,106万円
無形固定資産	1,282万円	繰延収益	36億 386万円
流動資産	25億7,080万円	負債合計	114億 857万円
現金預金	23億2,211万円	資本の部	
未収金	1億5,344万円	資本金	91億5,341万円
貯蔵品	2,348万円	剰余金	12億6,855万円
前払費用	9万円	資本剰余金	2億3,171万円
前払金	7,168万円	利益剰余金	10億3,684万円
		資本合計	104億2,196万円
資産合計	218億3,053万円	負債・資本合計	218億3,053万円

●表1 損益計算書※1

収益の部		費用の部	
営業収益	15億2,134万円	営業費用	15億3,824万円
給水収益	13億6,752万円	営業外費用	9,752万円
受託工事収益	1億1,875万円		
その他営業収益	3,507万円	費用合計	16億3,576万円
営業外収益	2億7,631万円	純利益	1億6,189万円
合計	17億9,765万円	合計	17億9,765万円

●表3 企業債※3残高

年度	金額
令和元年度	68億 761万円
令和2年度	70億9,921万円



令和2年度水道・下水道事業会計決算

持続可能な

安定経営を目指して

経営課 ☎(63)7118

9月市議会定例会で、令和2年度水道・下水道事業会計の決算が認定されました。今月号では、各事業の令和2年度決算をお知らせします。

水道事業

総収益17億9765万円に對して、総費用16億3576万円、差し引き1億6189万円が純利益になりました。この利益は、今後の水道施設の整備や借入金返済に充てていきます。

損益計算書(表1) 収益の部の主なものは、給水収益となる水道料金で、費用の部の主なものは、水道水を届けるための浄水費や維持管理費などの営業費用です。

企業債(表3) 令和2年度は、西川浄水場改築事業のために

下水道事業

令和2年度より公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業を1つの会計として地方公営企業法を適用し、持続可能な経営基盤の強化に取り組んでいます。

総収益23億7507万円に對して、総費用20億9507万円、差し引き2億8000万円が純利益になりました。この利益は、今後の下水

5億960万円を新たに借入れ、年度末の企業債残高は、70億9921万円です。

用語の解説

※1 **損益計算書** 1年間にどれだけの利益または損失が生じたかを表したものです。

※2 **貸借対照表** バランスシートとも呼ばれ、年度末の財政状態を示したものです。事業運営で得た財産の「資産」、事業運営のために必要とした借入金などの「負債」、事業経営における元手を意味する「資本」で構成されています。

※3 **企業債** 浄水場の建設や配水管・下水管の布設など、水道・下水道施設整備のための長期借入金